

令和8年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業 自治協議会委員からの提案一覧					
提案者	地域課題	提案・アイデア	担当課	区の方針	区分
1 吉田 委員	地域のシンボルでもある新潟医療福祉大学とのさらなる連携と活用	新潟医療福祉大学を地域のスポーツの拠点として、青少年から高齢者などを対象にあらゆるスポーツのルール学習、練習、大会の開催を行う。	産業振興課	北区では、新潟医療福祉大学との包括連携協定に基づき、同大学のスポーツ振興室と連携して取り組みを進めています。 今年度は、中学生部活動の地域展開に係る取り組みや指導者講習会の開催、北区の区づくり事業「北区エンジョイスポーツ事業」において新潟医療福祉大学を会場に実施しました。 また、新潟医療福祉大学では、市民を対象にスポーツフェスタを開催しています。 今後も北区の重要な教育の拠点である新潟医療福祉大学と連携し、スポーツ振興を図っていきます。	②現行事業で実施
2 佐藤 (康) 委員	学校が閉校して、子どもの遊ぶ声が減った。	出張児童館ほどではないが、「ふれあいスクール」のようなものを、地域のお年寄りが見守り役で、自治会館などでやってみてはどうか。	健康福祉課	当課が展開する出張児童館事業は、専門人材である児童館職員による子どもの居場所づくりはもちろんのこと、子育て支援に積極的に取り組む地域関係者や団体に対し、新たな居場所の立ち上げや運営支援を行うことも事業内容のひとつとしています。 実際に出張を行う中で、ボランティアとして携わってくださる地域もあり、そうした意欲のある方が「自分たちでもやれるかも」という思いを具体的に支援することで、行政と地域がともに主体となり連携しながら、持続可能性の高い子どもの居場所づくりを目指していきたいと考えています。	②現行事業で実施
3 藤田 委員	南浜エリアは、豊かな自然環境と農水産資源に恵まれながらも、その魅力が十分に発信されておらず、地域外への認知度が低い状況にあります。また、農家や漁協など地域の一次産業を支える担い手は高齢化と後継者不足により年々減少しており、地域資源を活かした産業や暮らしの継続性が懸念されています。 さらに、地域全体として人口減少が進行し、地元経済の縮小や交流の機会の減少にもつながっています。観光においても、海水浴や釣りなど単発的な利用に留まり、観光客の滞在時間が短いことが課題となっており、地域への経済的波及効果が限定的です。 加えて、「海辺の森」周辺には、未活用の土地（砂地）などが残されており、これらの地域資源を交流や体験の場として有効活用する仕組みが不足している状況です。今後は、地域資源を掘り起こし、地元住民と外部の人々が交流できる場を創出することが、地域の活性化と持続可能なまちづくりに不可欠です。	本事業では、地域に根ざした農家や漁協と連携し、これまで十分に活用されてこなかった南浜エリアの農産物・水産物などの特産品を掘り起こし、その魅力を地域内外に発信していきます。地域資源の情報発信や販路開拓を通じて、高齢化・担い手不足に直面する一次産業の再活性化を図るとともに、地元住民の誇りと関わりを再構築することを目指します。 また、「海辺の森」に広がる砂地を活用し、家庭菜園ゾーンの整備を進めることで、地元住民や来訪者が気軽に農に親しむ場を提供します。さらに、収穫した野菜や、近くの海で釣れた魚をその場で調理・味わえる体験型の交流エリアを創出し、地域資源の五感的な体験と消費につなげる新たな観光コンテンツを構築します。これらの取り組みにより、観光客の滞在時間を延ばし、交流人口の拡大と地域経済の循環を生み出すとともに、人口減少が進む地域における暮らしや産業の持続性を支える基盤づくりを目指します。	産業振興課	「すいか」、「メロン」、「長ネギ」等の南浜エリアの農産物については、県園芸振興基本戦略の育成産地に位置付けられており、JA、県、市等が連携し、担い手不足や販路拡大等の諸課題に取り組んでいます。 また、水産物については、南浜の漁協や北区誘客推進協議会などとともに、県産水産物の付加価値向上に向けた取り組みの検討を進めているところです。 「海辺の森」周辺での市民農園等の整備計画はありませんが、農水産物の販売エリアやバーベキューエリアの拡大など、引き続き、同地区の魅力向上や活動の場づくりを検討していきます。	②現行事業で実施

令和8年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業 自治協議会委員からの提案一覧					
4	小田 委員	・葛塚市場の活性化 ・葛塚市場の特色が必要	・若者に市日に行ってもらうには、月1回くらい休日に開いてもらうと良い。コミセンの駐車場もある。 ・葛塚市場をもっと地域の人にアピールする必要がある。 ・季節ごとに開く時間変える。たとえば、朝市、冬は午後から。 ・回数券を発行し、たまつたらトマト一袋サービスなど。 ・喫茶コーナーでお茶やコーヒーで一休み。 ・野菜の作り方、魚のさばき方の講習をしてもらう。	産業振興課	葛塚市場の活性化のため、週末と市場開催が重なる日には、「うまいもん市場」を同時開催し、キッチンカーの出店やお弁当販売、ワークショップを行うなど、若い世代や家族連れの来場につながるよう取り組んでおり、今年度は豊栄ハウス組合等と連携し、「豊栄トマトマルシェ」を初開催し、トマトなどが当たるキャンペーンも実施しました。 市場で継続的に購入していただけるよう、松浜市場との共通商品券の販売なども行っているほか、旧料亭を改装したラグーナスクエアで休憩をしていただくこともできます。 引き続き、歴史ある市場の魅力の周知や、新たな来場者サービスなど、市場組合とともに取り組んでいきます。
5	草間 委員	人口減少・若い世代の誘致	県外から若者の誘致として、北区で独自の実践型プログラムがあると良いと思いました。すでにあつたら失礼いたします。以前、東京から若い女性を受け入れた農家の奥さんは、気を使うし、食事も大変だったと言っていました。新潟の中心から近い所で、福島潟などの自然があるところは、そうありません。 菱風荘など自然豊かな宿泊施設を利用し農業、企業、起業者、イベント企画運営など誘致プログラムを、積極的に都会の大学や若者にPRする。これから農業はお米も増産に向かうでしょうし、ICT農業になるので、経験の浅い方でもICT技術にたけている若者が取り組み易いと思います。	産業振興課	令和5年度より、松浜エリアの空き家・空き店舗を題材に、起業を目指す市内外からの参加者がワークショップ等を通じて地域資源を活かしたビジネスを考え、2日間の短期集中型プログラム「松浜エリノベーションカレッジ」を開催しています。 令和6年度には、放課後等デイサービスが事業化されるなど、地域で実際に事業を実践する人材の育成につながりました。 外部の若者等を短期間受け入れる体験型プログラムは、魅力あるコンテンツの開発のほか、受入体制の整備や地域の協力などの課題もあることから、松浜リノベーションカレッジ事業の成果や効果を検証しながら、農業をはじめ、他分野への展開の可能性について検討していきます。
6	佐藤 (茂) 委員	北区の交流人口／関係人口の拡充	ラグーナスクエアの機能拡大 ・イベントスペースの設置、有料開放 ・関係団体のPR機能 ・大学、地元農家等との連携、発信 ・飲食スペース（潟料理等、売店スペースの拡大）など	産業振興課	令和5年11月より旧料亭を改装したラグーナスクエアの一部を、まちなかの賑わい創出のための交流スペースとして一般開放するとともに、新潟医療福祉大学がゼミなどで利用できるスペースを提供しています。 また、カフェでの飲食の提供を行っているほか、葛塚市場の休憩場所としても活用しています。 区だよりなどでも周知を行っているところですが、さらなる周知に取り組むとともに、施設管理者とも有効なサービスを検討していきます。

令和8年度 北区 特色ある区づくり予算区企画事業 自治協議会委員からの提案一覧

7 坪木 委員	空き家対策、人口減少対策	<p>・南浜地区のホームページ制作</p> <p>・地域の魅力を紹介する</p> <p>・移住者を増やす</p> <p>・この地域内には、海辺の森キャンプ場、島見浜海水浴場、島見県立緑地等の物的資源があります。又、新潟医療福祉大、新潟食料農業大学、敬和学園高校があり人的資源も豊富です。今は個別に情報発信していますが、それらを総合的に紹介する窓口を作り、居住者の増加と地域の活性化を図りたい。その延長で、空き家の有効活用が出来れば良い。</p>	地域総務課	<p>コミュニティ協議会が主体となって行うホームページ制作については、コミュニティ協議会運営助成金の活用が可能です。</p> <p>また居住を増やす取組みとして、本市では、松浜地区における空き家・空き地の増加や人口流出といった課題に対応するため、「松浜エリアリノベーション推進事業」を進めております。</p> <p>この事業では、地域の遊休不動産や人的資源を活用し、新たなまちづくりの担い手や不動産オーナーの発掘・育成、さらには事業化の支援を行っております。</p> <p>松浜地区での成果をもとに、地域資源や人的資源を総合的に活用することで、他地区でも空き家の利活用促進へつなげることができないか検討していきます。</p> <p>②現行事業で実施</p>
---------------	--------------	--	-------	--